- 訪問介護版 -

事業プロフィル(17年度試行版)

1.事業所名:

収入面でみて

職員数でみて

約

約

%

2.(1)運営主体(法人名等): (2)設置主体:
3.事業所所在地:
4.事業所の長の氏名(管理者等):
5.連絡方法 Tel Fax Eメール ホームページ
6.同一運営主体が同じ敷地内で連携して実施している主な福祉·医療サービスを利用者数からみて上位5つ以内(例.居宅介護支援、デイサービスなど、評価対象事業を含む。) 1) 2) 3) 4) 5)
7.同一運営主体が同じ敷地内で連携して実施している全事業のうち、今回の評価対象サービ ス事業が占める割合

%(非常勤は常勤換算)

8	. 当該事業の開始時から現在までの重要な変遷(制度改正に基づくもの含む)					
	1)事業運営の開始時期	年	月			
	2)介護保険の指定年月日	年	月			
	3)重要な変遷					
9	.理念·方針 事業所が大切にしている考え(事業所の理念·ビジ	ション・使命な	ど経営方針)のうち、特に重要			
	なもの(上位5つ以内)を簡潔に記述 1)					
	2) 3)					
	4) 5)					
1	0.サービス提供の考え方について記述(日々の業務 自の取組、利用者や家族との関係、地域との関係		用者ニーズに合わせた施設独			
1	1.職員数および職員の状況					
	(1)職員に求めている人材像や役割					
	(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感					

1) サービスを希望しながら待っている人(事業所に登録している待機者)がかなりに	1る
2) ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない	(ほぼ定員
を満たして い る)	
3) サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい	
4) その他()	
+) COIE(
13.3年後の見通し(以下のどれかに をつける)	
1) 利用者数の増加を見込んでサービス提供能力を拡大する計画がある	
2) サービス提供能力を拡大する計画はないが、ほぼ現在のサービス提供能力	こ見合う利
用者数は維持できると思う	
3) 現在の利用者数を維持するのは余程経営改善・サービス改善をしていかない	とかなり難
しい情勢になっているのではないかと思う	
4) その他()
14.評価対象としているサービス事業に関して事業所として力を入れて取り組んで	いる点を、
人的サービス面と設備面に分けて、重要な順に各3つ以内で記述	
人的サービス面	
1)	
2)	
3)	
設備·環境面	
1)	
2)	
3)	
3)	
15 奴労に影郷をヒラスレ老ラでいる東光理接の亦ルを却は(制度みでも会れ)	
15.経営に影響を与えると考えている事業環境の変化を記述(制度改正を含む)	

12.現在のサービス提供能力と利用者数(以下のどれかに をつける)

16.評価対象としているサービス事業を維持・向上させていくためにこれから何をしていかなけれ									
ばならないかについて、重要な順に3つ以内で記述									
(例.経営改善への職員の参画、職員の能力開発、後継者の育成、給与制度の改善、事									
業者間交流、利用者の身体機能維持など)									
1)									
2)									
3)									
17.現在の利用者の状況									
(1)現在の利用者 <u>人</u>									
(2)前年度の新規利用者数 <u>人</u>									
新規の申込者が1年以内に利用できる可能性									
(前年度のサービス利用辞退者数 ÷ 現在の待機者数 × 100)%									
(3)前年度の利用辞退者数人(老健への入所等、休止中の利用者数除く)									
【内訳】									
福祉施設・保健施設への入所人									
医療機関への入院 <u>人</u>									
死亡 <u>———————————————————————————————</u>									
その他 <u> </u>									
(4)現在の利用者									
現在の利用者数 <u>人</u>									
男女の割合 男性 % / 女性 %									
平均年齢									
平均要介護度(計算式:個々の要介護度の合計:現員数)									
要介護度等の内訳									
(要介護度の内訳)									
要支援 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5									
人数									

18	. 職員数および職員の状況						
	(1)常勤職員数		人				
	非常勤職員数		人(常勤	헰換算		<u>人)</u>	
	(計算式:非常勤職員のそれ	ぞれの勤	務延時間数	女の総数	女÷ 当該	核事業所の常勤職員か	
	勤務すべき時間数)						
	(うちケアマネジャー有資格者	の人数	人)				
	(2)前年度採用・退職の状況	採用	常勤:	人	・非常	<u>勤: 人</u>	
		退職	常勤:	人	· 非常	<u>勤: 人</u>	
	(3)常勤職員の平均年齢		歳				
	(4)常勤職員の男女比	_男性_		9,	6 / 女性	<u>%</u>	
	(5)常勤職員の平均在職年数			年	<u> </u>		
	(現在の事業所での在職年数	女とする)					
	(6)介護に携わっている職員(非	常勤は常勤	勘換算)1人	、当たり	の利用者	首数 <u>人</u>	
	(計算式:現在の利用者数÷	介護に携	わっている	職員数)		
19.職員の資格取得状況(複数有資格者の場合はのべ人数で記載)							
	(1)介護福祉士			人			
	(2)ホームヘルパー養成講習 2 級修了者人						
	(3)ホームヘルパー養成講習3%	級修了者		人			
	(4)社会福祉士			人			
20	. 介護保険におけるサービス費以	外の平均	的な利用料	1月客	頁)		
	具体的内			いず	れかに	金 額	
	נא נים 44 ∺	台				立 紀	
				月	· 回	円	
				月	·回	円	
				月	· 🗇	円	

(* 代わりに利用料金表を添付して頂いても結構です)

円

円

円

月·回

月·回

月·回